

平成24年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 心理臨床科学コース A群

注意事項

1. 受験番号を解答用紙の所定の欄に記入すること。
2. 解答は、必ず解答用紙に記入すること。
3. 解答用紙の他に、下書き用紙を配付するので、取り違えないよう注意すること。
4. 解答時間は、120分である。
5. 横書き、鉛筆（シャープペンシルを含む）書きにすること。

問 題

以下の文章を読み、問に答えなさい。

ヨシオは中学3年生男子。小学生の頃から同級生になじめず、クラスの中でもなんとなく浮いた存在です。クラスメイトに話しかけられても、ブスツとした態度で応対するため、いつしか相手の方も離れていきます。今は親友といえる友人はおらず、たまに話をする人が数名いる程度です。成績は中の下くらい。スポーツも得意な方ではなく、部活もやっていません。放課後は一人でゲームをしたりマンガを読んだりして過ごしています。

ヨシオの両親はいつも仲が悪く、ケンカが絶えません。父親はヨシオに似て口数が少なく、気に入らないことがあると暴れたり殴ったりします。お酒を飲んだ時は特にひどいです。母親は学校の先生をしており、教育熱心です。口うるさく、次々と「あれもしなさい、これもしなさい」と指示をします。すぐ従わないと余計に怒りだし、よくしゃべり機転の利く二つ下の妹とヨシオを比較して、「男のクセに」とけなします。最近妹もヨシオのことを「おにいちゃん」とは呼ばず、「ヨシオ」と呼び捨てるようになりました。今は、家族とはほとんど口をききません。2ヶ月程前から父親の暴力がひどくなり、母親はヨシオと妹を連れて家を出ました。今は狭いアパートに3人暮らしで、母親によれば、いずれ離婚するのだそうです。

中学3年の夏休みを過ぎて、ヨシオはなんだか急に学校に行くのが面倒になりました。受験が気にならないわけではありません。むしろ、先のことを考えると不安で落ち着かなくなる時もあります。でも一方で、もうどうでもいいような気持ちもあります。夏休み明けから学校を休みはじめ、1ヶ月が過ぎました。担任は数回電話をしてきましたがそれだけで、ヨシオのことを大して気にもとめていないようです。母親は毎朝口うるさく怒鳴り散らしますが、やがて仕事に行ってしまうので、その後は一人で自由気ままに過ごしています。今は、色々考えないようにしています。

問1 あなたはヨシオの幼なじみで、数少ない話の出来るクラスメイトである。彼の自宅を訪ねて話をするとしたら、あなたはどの様に声をかけるだろうか。あなたが彼にかける言葉を、語りかけるような口調(口語体)で、800字以上、1000字以内で述べなさい。

問2 (問題は、試験開始から1時間経過後、試験監督者より配付されます。)

以下の文章を読み、問に答えなさい。

「あなたの話を聞いていたヨシオは、急に「何も分かってなくせにえらそうなこと言うな！ほっといてくれ！」と怒鳴り、それきり黙ってしまいました。

問2 この時、ヨシオはどのような気持ちなのだろうか。またそういう気持ちを考慮した上で、今後どの様に対応していくべきなのだろうか。口語体ではなく文語体で、800字以上、1000字以内で述べなさい。

平成24年度入学試験問題（前期日程）

小論文

教育学部 生涯教育課程 心理臨床科学コース A群

出題の意図

本コースでは、単に臨床心理学にとどまらない、懐深い人間理解の視点を培うことで、現場で本当に役立つ臨床心理士や音楽療法士、臨床動作士の基礎を築くとともに、教員を含めた幅広いニーズに応えうる社会人の養成を行う。こうした専門家になるためには、人間に対する深い共感性と豊かな想像力が不可欠である。また、単に共感するだけではなく、相手の心情を構造的に理解する理性的思考能力も必要となる。

こうした能力を評価するため、本入試問題では、不登校生徒の架空事例を題材に取り上げる。問1では、生徒に口語体で話しかける場面を設定することで、①不登校生徒の心情に対する想像力、②そうした生徒に心遣いをできる共感能力を見る。さらに問2では、そうした心遣いを否定される葛藤場面を提示し、③個人の感情に流されず相手の心情を分析する理性的思考能力を見る。何を言うかではなく、表面的な言葉に惑わされずに相手本位の視点を維持できる、真の共感性を評価の対象としたい。